

## 分担研究報告書

### 食品を介したダイオキシン類等の人体眼部への影響に関する研究

研究分担者 園田 康平 九州大学大学院医学研究院眼科学分野 教授

**研究要旨** 令和2年度油症患者の眼症状の検討を試みた。

#### A. 研究目的

研究の目的は、油症患者の眼所見の把握および治療法の確立である。したがって、患者の眼症状を把握し、その症状、苦痛を除くことに関する研究である。

#### B. 研究方法

令和2年度の油症検診が下記の通り行われた。

9月12日福岡会場 5名。

眼科的所見として、眼脂過多、眼瞼浮腫、眼瞼結膜色素沈着、瞼板腺嚢胞形成、瞼板腺チーズ様分泌物圧出の5項目を検討することを計画していたが、新型コロナウイルス肺炎の流行に伴い3密を避ける目的で眼科学的診察は行われなかった。

#### C. 研究結果

今年を受診者は5名であり、前年度よりも207名少なかった。大幅に参加者が減少しているのは新型コロナウイルス肺炎の影響であると考えられ、感染対策の一環として今年は眼科学的診察は行われなかったため、参加者の所見は不明である。

#### D・E. 考察・結論

これまで受診者の高齢化が進み臨床所見は少なくなっている傾向にあった。今後も同様の傾向が続くことが想定されるが加齢に伴う未知の晩期合併症の出現などがないかも注目しながら観察していく必要がある。

#### F. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし